

天然由来の石けん成分を使用した環境配慮型の消火剤の開発

水源確保が困難な現場や集合住宅などの階下へ水が浸透する二次被害などの問題を減らせる消火剤を開発。消火対象を泡で覆い空気を遮断して消火する。水生生物に対して毒性が高い合成界面活性剤を使用せず、天然由来の石けんを使用することで環境性能の面でも画期的な消火剤である。

本業の動向について

無添加石けんの製造・販売を主要業とする。受注・売り上げともに前年対比横ばいである。

公設研究機関との連携事業について

連携先公設研究機関の名称

公立大学法人北九州市立大学
学校法人産業医科大学
国立大学法人広島大学
国立大学法人九州工業大学

所在地

福岡県北九州市小倉南区北方4丁目2番1号
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号
広島県東広島市鏡山1丁目3番2号
福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

連携内容

一般建物用消火剤、林野火災用消火剤、泥炭火災用消火剤、医療用ハンドソープの開発、石けんの酸化のメカニズムの解明とその対策方法の開発など。

連携した動機やきっかけ

- ・技術及び設備の不足により、専門的なアドバイスと研究機器の提供を受けたかった為。
- ・開発品の性能データの取得とデータの信頼性のアップのため。

連携の効果

当社では実施できない専門的実験データの取得が出来た。学術的なアプローチにより、研究員の専門技術・知識の向上や学会発表が出来た。

連携して最も効果のあったこと

専門的な実験データの取得。

連携して最も困難だったこと

営業情報や技術的ノウハウ等の情報管理。

連携するメリット・デメリットについて

メリットとしては自社研究員の専門知識・技術の向上や製品価値の向上。デメリットとしては営業情報や技術ノウハウ等の情報管理が困難であること。

連携に際しての注意、アドバイスなど

公設試験研究機関のコーディネーターおよび研究者に、企業の求めるニーズを理解してもらえよう(最終目標を共有化できるよう)意見交換を積極的に行なう。

公設研究機関との連携で行政に望む支援

助成金制度に関する積極的な情報提供や公的機関との研究推進を円滑に進める為のサポート。

会社概要

設立:1949年(昭和24年)5月
資本金:3億円
従業員数:50名
U R L : <http://www.shabon.com>